

東北ブナ紀行（77）

奥田 博

先日「絶望の林業」（田中淳夫著 新泉社）という後ろ向きなタイトルの本を読んだ。官邸主導の「林業の成長産業化」が、いかに森林の公的機能を奪い、それによって日本を災害に対して脆弱な国にしてしまうか、いかに子孫にとり返しのつかないツケを回すことになるかを多くの事例で示している。取付き難い用語を調べながら読み進めると、絶望から希望の提案が出てくるのだが、果たして林業関係者も含めて変わるか？

118) 三方倉山（さんぼうくら）971m

三方倉山は、大東岳の南側、山麓から眺めると端正な三角形の山容を見せている。三方とは山の周辺を表し、倉は岩場を表す。その岩場を避けながら登山道は開かれているが、山頂までは急坂の連続となる。その急坂にブナ林が広がる。

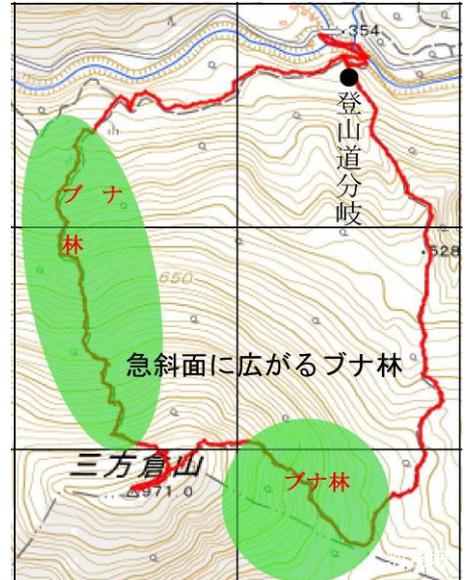
二口林道脇の駐車場から名取川源流のナメ滝を渡って登山が始まる。南に向かう道は「ブナ平方面」の道標に従う。道は普通の登りで、登った際にはブナの実がたくさん落ちていた。やがてブナ平となり、休憩ポイント。



急斜面には見事なブナが続く

いよいよ急坂が始まり、太いブナも所々に見られるが、急坂に加え足元も悪いので眺める余裕がないかも知れない。穏やかな登りに変われば山頂到着となる。山頂からの下りも急坂の連続で、気が抜けない。中間部を過ぎると周囲の森を眺める余裕が出てくるが、メインは急斜面途中だ。やがて平坦な道になれば、登山口分岐へと戻ってゆく。

コースタイム：登山口（2時間30分）山頂（1時間20分）登山口



119) 笹谷古道 プラス 仙台神室岳 1356m



太いブナは、何を見てきたのだろうか

かれていた厳しい峠道であったことがうかがわれる。峠道には時代を見てきたようなブナの大木ばかりでなく、トチノキの大木、天保14年と刻まれた馬頭観音、「函水」と呼ばれた人馬が喉を潤した水場、そして有耶無耶の関など見どころ満載の峠道だ。

コースタイム：国道入口（1時間30分）有耶無耶の関（1時間10分）国道入口

笹谷街道・国道286号線から神室岳に登るには仙人沢出合から歩き出すと尾根に載る迄の間にブナが見られるが、上部では大きなブナには会えない。そして何より国道286号線は不通になることが多いのが難。

あまり知られていないが、国道286号線の南側に笹谷古道として遊歩道が整備されている。尾根を有耶無耶の関跡までは、時折見事なブナが見られる。入口には笹谷古道の解説が建っており、南北朝時代から歩

